

# 厚物プリントする人に大切な「脱脂」のおはなし

④脱脂洗浄は厚物プリントの基本。方法は、脱脂剤を素材にかけて、柔らかい布で丁寧にふき取る。その際、静電気が起きないように布を使おう。静電気はインクミスト付着の原因になる。

## 厚

物プリンターユーザーにとって悩みの種は「プリント後の剥離」だろう。納品後にプリントが剥がれてクレームになった……という場面を想像すると背筋がヒヤリとする読者も多いはず。

そこで重要なのがプライマー（下地剤）。プリント前の素材に塗り、インクの密着性をアップさせてからプリントしたい素材によってプライマーの種類が変わることがあるため、選び方は難しい。ところが、「プライマーを塗るより先に気を付けてほしい点がある」と、(株)関西モリッツの森川博光社長は言う。

## 同じプライマー、同一素材でも評価が二分する謎

同社は以前からプライマーの販売を手掛けていたが、ある時奇妙な現象に気が付く。それが、「弊社のプライマーの評価が『素晴らしい』『ぜんぜん使えない』と二分したんです。最初はプリントする素材に合わなかったのかと思っていました。同一素材でも同じ結果だった」。

つまり、プライマーが問題なのではなく、それ以前に問題があるのではないかと考えた。そして行き着いたのが、「脱脂洗浄」だ。

金型から製品を作る場合、ス

イズに剥がすために離型剤を塗布する。または、海外製造の場合、人の手で製品が扱われる。これにより、製品表面には油分が残る。

これを取るために、脱脂洗浄が必要になる。ここをおろそかにすると、どんな素晴らしいプリンターでもちゃんとした製品は作れない。森川社長によると、

「金属素材にプリントするユーザーはアセトンなどの有機溶剤でしっかり脱脂していたが、プラスチックの場合は素材の変質を恐れ、洗浄力の低い脱脂剤を使っていたんです」。

しっかり脱脂できていない上にプライマーを塗っても、ノリが悪く剥がれる原因になる。また、「自分はアルコールでしっかりやっていた」という人でも、その種類まで理解していない場合がある。メタノールは脱脂洗浄力が低く、エタノールはメタノールより強いが、使用方法によっては樹脂が溶解することがあるため、手早く脱脂することが多い……など。

脱脂洗浄を徹底することで、「むしろプライマーが無くてもしっかりプリントできるようなったこともある」と森川社長。基本的なことだが、いい製品作りはその積み重ねが必要なのだろう。



脱脂セット  
ダッシュアース

プラスチック素材の中でも、スチロール樹脂のような溶剤に弱い素材でも、表面を侵すことなく安心して使える脱脂洗浄剤。静電気除去剤が配合されているので、脱脂洗浄時の静電気によるゴミやホコリの付着も防止することができる。安定的な脱脂洗浄が可能になることで、プライマーやインクの密着性を改善させることができる。単品価格はダッシュアース1Lが2480円、専用拭き上げクロスが600円、アルコール対応スプレーボトルが680円。3点全てがセットになったスターターキットは2980円。

(株)関西モリッツ ☎06-6940-0980



プライマー  
トレナー-1

各種金属に対応した、耐久性、付着性の高いプライマー。UVプリンターのインクにも対応している。銅板素材（アルミ、ステンレス、焼き付け被膜など）に強力な付着性があるだけでなく、各種上塗塗料（ウレタン、ラッカー、フタル酸など）にも優れた付着性がある。塗装後、15分以上で使用可能。焼き付けでも問題ない（上限180℃）。クロム金属など重金属不使用で、RoHSやREACHにも対応している。価格は500ml入りで4500円。トレナー-2とセットになったお試しセット（各50ml・3000円）も発売中。

(株)関西モリッツ ☎06-6940-0980



プライマー  
トレナー-2

各種プラスチック素材に対応した、耐久性、付着性の高いプライマー。UVプリンターのインクにも対応している。プラスチック素材に強力な付着性があり、接着の困難なPP用プライマーとしても効果がある。各種上塗塗料（ウレタン、ラッカー、フタル酸など）にも優れた付着性がある。塗装後、15分以上で使用可能。焼き付けでも問題ない（上限180℃）。標準被膜は5~10μ。クロム金属など重金属不使用で、RoHSやREACHにも対応している。価格は500ml入りで5000円。

(株)関西モリッツ ☎06-6940-0980